

令和2年度事業計画

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

1 基本方針

今日、我が国は、経済的な発展のもとに物質的には豊かになったが、未だ様々な「不均衡」があふれており、「生きる意味のない命」があるかのように人を分断する事件・事象も起こっている。しかし、一人ひとりの存在そのものは、すべてが等しく光り輝いている個性であり、その輝き、すなわち「尊厳」を認め合う共生社会の実現が急務である。

糸賀一雄氏の思想は、あらゆる人の尊厳を等しく尊重するという、障害の有無、年齢、性別、国籍等を問わない普遍的思想であり、今こそ国内外や未来に発信すべき指針（道しるべ）である。

当財団では、この思想を受け継ぎ、次の時代へ確実に伝え、今の時代に求められる福祉の「ひとづくり」を進めるため、「糸賀一雄記念賞」および県から受託の「先人に学ぶ『福祉しが』人づくり発信拠点事業」や国から受託の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」などを実施し、障害者など生きづらさがある人やその家族が安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。

また、平成28年度に策定した「公益財団法人糸賀一雄記念財団中期経営計画」が、今年度末をもって終期を迎えることから、新たな計画の策定に取り組むとともに、組織をあげて賛助会員を増やす活動を強化推進するなどして、当財団の自主的・主体的な運営の確立および財政基盤の強化を目指す。

2 事業計画

(1) 啓発事業

- ア 福祉分野以外（企業、教育、まちづくり、男女共同参画など）との連携強化に向けた協議調整
- イ ブックレット「ほほえむちから」を使った「語り部」による啓発活動の実施

(2) 表彰事業

- ア 令和2年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および団体の募集、ならびに選考委員会の開催
- イ 令和2年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の授賞式の開催

(3) 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

- ア 福祉現場の若手・中堅職員を対象としたワークショップの開催
- イ 糸賀一雄氏ら先人の関連資料の展示・収集

(4) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

障害福祉従事者、事業経営者等が改めて共生社会の基本理念等を学び、それを実践につなげていくことを目的とした厚生労働省の研修事業を当財団が受託し、共生社会の基本理念を福祉現場や地域で語り広めることができる「語り部」を確保・育成する。

(5) 関連事業

糸賀一雄記念賞第十九回音楽祭の実行委員会への参加

(6) 広報事業

財団広報誌の発行やホームページの運営

(7) 財政基盤の強化

賛助会員の拡大を図るとともに、ブックレット「ほほえむちから」の頒布により自主財源の確保に努める。

収 支 予 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	15,000	2,000	13,000	
受取会費	622,000	320,000	302,000	
事業収益	13,995,000	13,582,000	413,000	
受取補助金等	9,964,000	9,134,000	830,000	
受取寄付金	1,878,000	1,500,000	378,000	
雑収益	1,000	1,000	-	
経常収益計	26,475,000	24,539,000	1,936,000	
(2) 経常費用				
事業費	21,613,000	19,599,000	2,014,000	
管理費	4,862,000	4,940,000	△ 78,000	
経常費用計	26,475,000	24,539,000	1,936,000	
(うち人件費)	9,400,000	7,553,000	1,847,000	
評価損益等調整前当期 経常増減額	-	-	-	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	-	-	-	
当期一般正味財産増減 額	-	-	-	
一般正味財産期首残高	169	41	128	
一般正味財産期末残高	169	41	128	
II 指定正味財産増減の部				
受取会費	1,000,000	640,000	360,000	
一般正味財産への振替額	△ 2,500,000	△ 1,820,000	△ 680,000	
当期指定正味財産増減 額	△ 1,500,000	△ 1,180,000	△ 320,000	
指定正味財産期首残高	52,592,110	54,377,197	△ 1,785,087	
指定正味財産期末残高	51,092,110	53,197,197	△ 2,105,087	
III 正味財産期末残高	51,092,279	53,197,238	△ 2,104,959	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	10,000	—	5,000	—	15,000
受取会費	435,000	—	187,000	—	622,000
事業収益	13,995,000	—	—	—	13,995,000
受取補助金等	5,857,000	—	4,107,000	—	9,964,000
受取寄付金	1,315,000	—	563,000	—	1,878,000
雑収益	1,000	—	—	—	1,000
経常収益計	21,613,000	—	4,862,000	—	26,475,000
(2) 経常費用					
事業費	21,613,000	—	—	—	21,613,000
管理費	—	—	4,862,000	—	4,862,000
経常費用計	21,613,000	—	4,862,000	—	26,475,000
(うち人件費)	6,993,000	—	2,407,000	—	9,400,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	—	—	—	—
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	—	—	—	—	—
当期一般正味財産増減 額	—	—	—	—	—
一般正味財産期首残高	169	—	—	—	169
一般正味財産期末残高	169	—	—	—	169
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	700,000	—	300,000	—	1,000,000
一般正味財産への振替額	△ 1,750,000	—	△ 750,000	—	△ 2,500,000
当期指定正味財産増減 額	△ 1,050,000	—	△ 450,000	—	△ 1,500,000
指定正味財産期首残高	36,463,977	—	16,128,133	—	52,592,110
指定正味財産期末残高	35,413,977	—	15,678,133	—	51,092,110
III 正味財産期末残高	35,414,146	—	15,678,133	—	51,092,279

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

令和元年度事業報告

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

今後の福祉の発展と人づくり、意識づくりを図り、障害者など生きづらさがある人やその家族が生涯にわたって安心して生活できる福祉社会の実現に寄与するため、糸賀一雄氏ら先人の福祉の実践と思想の普及啓発や、糸賀一雄記念賞および同未来賞の表彰事業、先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業、共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業などを実施した。

1 表彰に関する事業

(1) 糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および候補団体の募集

令和元年5月27日から令和元年7月31日までを募集期間とし、候補者および候補団体の募集を行った。

(2) 選考委員会の開催

令和元年9月4日（水）東京都手をつなぐ育成会において選考委員会を開催し、次の受賞者を選考した。

ア 記念賞 清水明彦氏（兵庫県西宮市）

イ 記念未来賞 特定非営利活動法人みらい予想図（高知県高知市）、永田かおり氏（滋賀県米原市）

(3) 授賞式の開催

ア 日時 令和元年11月2日（土）

イ 場所 ホテルニューオウミあづちの間

ウ 内容 表彰式、受賞者記念スピーチ、記念レセプション

2 糸賀一雄記念賞関連事業への協力

関連事業として開催された糸賀一雄記念賞第十八回音楽祭の実行委員会に参加した。

3 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

滋賀県との先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業委託契約に基づき、県立長寿社会福祉センター内の展示スペースにパネル展示等を行い、糸賀一雄氏らの実践と思想の発信、啓発を図った。

また令和元年10月11日に県立八幡高等学校（近江八幡市）で高校生を対象に、令和元年12月9日に社会福祉法人虹の会ハーモニー（高島市）で福祉現場職員等に対し、ワークショップ「語りの場」を開催し研修を行った。

4 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件を風化させることなく、命の重さと共生社会に関する基本理念を多くの国民に浸透させるため、一般の方を対象としたプログラムと福祉の現場や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み合わせた共生社会フォーラムの実施を厚生労働省から受託し、全国5ブロック6会場（埼玉県・鳥取県・兵庫県・岩手県・長崎県・岡山県）で開催するとともに、全体フォーラムを滋賀県で開催した。

5 啓発事業

啓発冊子ブックレット「ほほえむちから」や糸賀一雄紹介パンフレットを活用し、糸賀一雄氏の思想の普及啓発に努めた。

正味財産増減計算書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	20,238	2,009	18,229
特定資産運用益	36	87	△ 51
受取会費	—	648,000	△ 648,000
事業収益	13,783,700	11,658,500	2,125,200
受取補助金等	9,949,000	9,134,000	815,000
受取寄付金	3,000,000	7,800,000	△ 4,800,000
雑収益	58	29	29
経常収益計	26,753,032	29,242,625	△ 2,489,593
(2) 経常費用			
事業費	21,941,574	22,822,232	△ 880,658
管理費	5,793,558	5,091,265	702,293
経常費用計	27,735,132	27,913,497	△ 178,365
(うち人件費)	9,331,818	7,675,698	1,656,120
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 982,100	1,329,128	△ 2,311,228
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 982,100	1,329,128	△ 2,311,228
当期一般正味財産増減額	△ 982,100	1,329,128	△ 2,311,228
一般正味財産期首残高	731,169	△ 597,959	1,329,128
一般正味財産期末残高	△ 250,931	731,169	△ 982,100
II 指定正味財産増減の部			
受取会費	696,000	648,000	48,000
受取寄付金	500,000	—	500,000
一般正味財産への振替額	△ 3,000,000	△ 8,448,087	5,448,087
当期指定正味財産増減額	△ 1,804,000	△ 7,800,087	5,996,087
指定正味財産期首残高	55,017,110	62,817,197	△ 7,800,087
指定正味財産期末残高	53,213,110	55,017,110	△ 1,804,000
III 正味財産期末残高	52,962,179	55,748,279	△ 2,786,100

正味財産増減計算書内訳表

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	14,167	-	6,071	-	20,238
特定資産運用益	26	-	10	-	36
受取会費	-	-	-	-	-
事業収益	13,783,700	-	-	-	13,783,700
受取補助金等	5,061,581	-	4,887,419	-	9,949,000
受取寄付金	2,100,000	-	900,000	-	3,000,000
雑収益	-	-	58	-	58
経常収益計	20,959,474	-	5,793,558	-	26,753,032
(2) 経常費用					
事業費	21,941,574	-	-	-	21,941,574
管理費	-	-	5,793,558	-	5,793,558
経常費用計	21,941,574	-	5,793,558	-	27,735,132
(うち人件費)	5,558,516	-	3,773,302	-	9,331,818
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 982,100	-	-	-	△ 982,100
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△ 982,100	-	-	-	△ 982,100
当期一般正味財産増減額	△ 982,100	-	-	-	△ 982,100
一般正味財産期首残高	731,169	-	-	-	731,169
一般正味財産期末残高	△ 250,931	-	-	-	△ 250,931
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	487,200	-	208,800	-	696,000
受取寄付金	350,000	-	150,000	-	500,000
一般正味財産への振替額	△2,100,000	-	△ 900,000	-	△3,000,000
当期指定正味財産増減額	△1,262,800	-	△ 541,200	-	△1,804,000
指定正味財産期首残高	38,511,977	-	16,505,133	-	55,017,110
指定正味財産期末残高	37,249,177	-	15,963,933	-	53,213,110
III 正味財産期末残高	36,998,246	-	15,963,933	-	52,962,179

貸 借 対 照 表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	1,398,681	776,207	622,474
未 収 金	12,035,000	9,072,000	2,963,000
流 動 資 産 合 計	13,433,681	9,848,207	3,585,474
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	51,603,110	54,103,110	△ 2,500,000
基 本 財 産 合 計	51,603,110	54,103,110	△ 2,500,000
(2) 特 定 資 産			
定 期 預 金	1,574,000	878,000	696,000
特 定 資 産 合 計	1,574,000	878,000	696,000
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	1	1	-
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
その他固定資産合計	36,001	36,001	-
固 定 資 産 合 計	53,213,111	55,017,111	△ 1,804,000
資 産 合 計	66,646,792	64,865,318	1,781,474
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
短 期 借 入 金	10,000,000	8,000,000	2,000,000
未 払 金	3,670,523	1,105,839	2,564,684
預 り 金	14,090	11,200	2,890
流 動 負 債 合 計	13,684,613	9,117,039	4,567,574
負 債 合 計	13,684,613	9,117,039	4,567,574
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
賛 助 会 費	696,000	-	696,000
寄 付 金	52,481,110	54,981,110	△ 2,500,000
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
指 定 正 味 財 産 合 計	53,213,110	55,017,110	△ 1,804,000
(うち基本財産への充当額)	(51,603,110)	(54,103,110)	(△ 2,500,000)
(うち特定資産への充当額)	(1,574,000)	(878,000)	(696,000)
2 一 般 正 味 財 産	△ 250,931	731,169	△ 982,100
正 味 財 産 合 計	52,962,179	55,748,279	△ 2,786,100
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	66,646,792	64,865,318	1,781,474